

# 千葉大学医学部附属病院で肝切除をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年1月28日

肝胆膵外科

肝胆膵外科では、胆道癌における術前胆管炎による周術期合併症に及ぼす影響に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2003年1月1日～2024年12月31日の間に胆道癌に対し、肝切除をされた方を対象に2026年1月27日までの患者情報を収集

## 1. 研究課題名

「胆道癌周術期合併症軽減効果のための術前胆道感染治療後至適手術待機期間に関する研究」

## 2. 研究期間

2026年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

## 3. 研究の目的・方法

胆道癌は術前から皮膚や眼球の黄染、褐色尿といった「黄疸」を伴うことが多く、それに伴い「胆管炎」を繰り返す方もいらっしゃいます。そのため、周術期合併症を予防する目的で、内視鏡的にステントを留置するなどの減黄処置が必須と考えられておりますが、適切な減黄処置を施行しているにも関わらず、胆管炎の制御に難渋するなど治療計画に影響を与えることも少なくありません。そこで、胆管炎発症の有無や重症度、発症から手術までの待機期間に着目し、術中・術後合併症が増えるか、胆管炎後の適切な手術時期はいつかといったことを明らかにし、胆道癌の術前治療計画や合併症予防に役

立てていくことを目的としています。

方法としては、胆道癌の診断で肝切除を施行された患者さんを対象として、胆管炎の時期や治療方法、胆汁培養からの起因菌、術後合併症に関するデータなどを解析することで、適正な術前治療の方法、タイミングを明らかにします。

#### 4. 研究に用いる情報の種類

カルテに記載された身長、体重、病歴、術前・周術期・術後の診療経過、採血の情報、画像検査の情報、病理組織学的情報を使用します。本研究のために、新たに検査が必要になることはありません。

#### 5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：肝胆膵外科 大塚将之 教授

#### 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、研究結果について当該機関の研究者等の判断の下、原則、研究対象者に開示します。また、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページの「個人情報保護」をご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

#### 7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院

肝胆膵外科 大塚 将之 教授

肝胆膵外科 高屋敷 吏 診療准教授

043(222)7171 内線 6731